

投資企業名（リンク付き英名）	投資企業名	雇用創出	発表時期	投資場所 (テキサス州内部または 都市名、英/日)	本国名	投資内容（テキサス州の助成制度：TEF、TSIF、JETIについては下記（注）を参照）
Epiroc	エピロック	不明	2024年11月20日	Garland/ ガーランド	スウェーデン	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ガーランド市に新施設サーフェス・マイニング・オートメーション・センター（鉱業自動化センター）を開設 ・投資規模：500万ドル超 ・概要：鉱山・インフラ向け機器メーカーとして、最新の自動化・電動化技術を推進する「サーフェス・マイニング・オートメーション・センター（Surface Mining Automation Center (SMAC)）」を開設。顧客やパートナー向けにライブデモを行う技術拠点で、持続可能な鉱業の実現を目指す。エピロックは世界150カ国で事業を展開し、ドリルリグや岩盤掘削機、建設機械、デジタル化・自動化ソリューションを提供。今回の施設は北米市場での技術サポートと顧客体験を強化する戦略的拠点。
MGM Transformers & VanTran Transformers	MGMトランスフォーマーズ、パントラン・トランスフォーマーズ	約700人（今後5年間で）、既存従業員約250人を含む	2025年4月24日	Waco/ ウェイコ	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ウェイコ市で変圧器製造施設を新設 ・投資規模：資本投資 非公表（年間生産能力10億ドル相当の見込み） ・概要：MGMトランスフォーマーズとパントラン・トランスフォーマーズによる共同プロジェクト。MGMは2024年にパントランを買収し、両社の技術を統合。ウェイコ市に43万平方フィートの先端製造施設を開設し、液体充填（じゅうてん）型変圧器の生産能力を大幅に拡大。新工場はデータセンター、再生可能エネルギー、EV充電インフラ、公益事業向けの需要に対応し、米国の電力網強化とエネルギー転換を支援。今回の投資は、国内生産能力の増強と海外依存低減を目的とし、ウェイコ地域の経済成長と雇用創出を加速する見込み。
Immatics	イマティクス	200人以上	2025年4月30日	Stafford/ スタッフォード	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州スタッフォード市で細胞治療製造施設を新設 ・投資規模：非公表 ・概要：ドイツの製薬企業イマティクスの米国法人が、ヒューストン近郊スタッフォードに10万平方フィート（約9,300平方メートル）の細胞治療製造プラントを開設。新施設は同社の細胞治療プロセスを大幅に拡張する目的で建設され、がん免疫療法など先端医療の製造能力を強化。今回の進出により、テキサス州のライフサイエンス産業集積がさらに加速する見込み。
Salcomp	サルコンプ	約660人（うち156人は平均年収12万2,000ドル）、採用は3～5年で実施予定	2025年5月1日	Arlington/ アーリントン	フィンランド	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州アーリントン市に米国本社を設立+電源製造施設を拡張 ・投資規模：非公表（インセンティブ最大約187万ドル） ・概要：電源、無線センサー、精密部品、5G RF部品などを製造し、世界で1万2,000人以上の従業員を擁するグローバル企業。米国本社をテキサス州アーリントンに設立し、既存製造施設を改修してモバイル・電子機器向け電源製造ラインを3本追加。今回の進出はシリコンバレーからの移転事例であり、アーリントン経済開発局との契約に基づき、インフラ改善費の30%や、テキサス大学オースティン校卒業生を含む地元採用奨励金など、最大187万6,622ドルの支援を受ける予定。
Inventec	インベンテック	不明	2025年5月6日	Katy/ ケイティ	台湾	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ケイティ市にサーバー組み立て工場を新設 ・投資規模：資本投資 8,500万ドル ・稼働予定：2025年末にサーバー組立開始見込み（第1期改装は2025年9～10月完了予定）。 ・概要：台湾の電子機器メーカー。テキサス州ケイティ市に製造拠点を設立。第1期では約3万9,390平方フィートを改装し、電子部品組立施設に転換。長期的には54万平方フィートの施設を活用し、AIサーバーなど高需要製品の組立を行う計画。テキサス選定理由は、安定した電力供給、メキシコ拠点への近接性、米国市場での顧客対応強化。今回の投資は、米国の貿易・関税リスク軽減とサプライチェーン多様化を目的とし、FoxconnやWistronなど他の台湾系ODM企業の米国進出に続く動き。
NTxBio	エヌティーエックス・バイオ（NTxBio）	170人以上の新規雇用	2025年5月14日	Plano/ プレイノ	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州プレイノ市でバイオ製造施設を新設 ・投資規模：TEF助成金147万9,000ドル、資本投資 3,100万ドル超 ・概要：RNAやたんぱく質治療薬の開発に使用される医薬品グレード原材料を製造するため、プレイノに新たなバイオ製造施設を設立。次世代バイオ製造プラットフォームを活用し、がんや希少疾患治療の研究開発を推進。テキサス州のライフサイエンス産業集積を強化し、国内生産と雇用創出を加速。
Tokyo Electron U.S. Holdings	東京エレクトロン	年間約2,200人を研修（VR・AR活用の先端研修）	2025年5月22日	Austin/ オースティン	日本	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州オースティン市で半導体R&D・技術研修センターを新設 ・投資規模：TSIF助成金 308万ドル、資本投資 3,000万ドル超 ・概要：東京エレクトロンの米国子会社、東京エレクトロンU.S.ホールディングスが、TSIFから助成を受け、オースティンに技術研修・R&Dセンターを設立。次世代ソフトウェアやプロセス開発を推進し、米国半導体産業の競争力強化に貢献。州のCHIPS法に基づく取り組みで、国内半導体技術の生産・人材育成を加速。
Bionova Scientific	バイオノバ・サイエンティフィック	不明	2025年6月3日	The Woodlands/ ザ・ウッドランズ	日本	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ザ・ウッドランズ市で細胞製造施設を新設 ・投資規模：資本投資 1億ドル ・概要：旭化成グループ傘下の米国企業。テキサス州ザ・ウッドランズに新しい細胞製造施設を開設。新拠点はプラスミドDNA製造設備を備え、ライフサイエンス分野の集積を強化する狙い。今回の進出は、ヒューストン地域でのバイオテクノロジー・製薬製造の成長トレンドの一環であり、州や地域の研究開発支援策（例：認知症予防研究所構想）とも連動。同社は既に一部顧客をヒューストン地域に誘致しており、今後さらなる企業集積を促進する見込み。
Linde	リンデ	約90～100人	2025年6月6日	Brownsville/ ブラウンズビル	アイルランド	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ブラウンズビル市で空気分離プラントを新設 ・投資規模：資本投資 1億ドル ・稼働予定：2026年 ・概要：スターベース市（旧・ボカチカ）に所在するスペースX向けに液体酸素・液体窒素を供給するため、ブラウンズビルのノース工業団地に空気分離プラントを建設。新施設は約9エーカーの敷地に設置され、SpaceXのロケット打ち上げに不可欠なガスを供給。近接立地により輸送距離を500マイル超から50マイル未満に短縮し、供給効率を大幅改善。同地域の経済開発団体「Greater Brownsville Incentives Corporation (GBIC)」が130万ドルの人材育成支援を提供。リンデはNASAのアポロ計画以来、60年以上にわたり宇宙産業を支援しており、今回の投資でブラウンズビルは航空宇宙製造のハブとしての地位を強化。

表：テキサス州の投資案件一覧（2025年発表）

投資企業名（リンク付き英名）	投資企業名	雇用創出	発表時期	投資場所 (テキサス州内郡または都市名、英/日)	本社国名	投資内容（テキサス州の助成制度：TEF、TSIF、JETIについては下記（注）を参照）
John Paul Mitchell Systems (JPMS)	ジョン・ポール・ミッチェル・システムズ	8人の新規雇用	2025年6月19日	Dalla/ ダラス	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ダラス郡ウィルマー市で本社移転およびグローバル製品配送センターを新設 ・投資規模：TEF助成金 64万ドル、資本投資 1,200万ドル超 ・概要：カリフォルニア州から本社をテキサス州ダラス郡に移転し、グローバル製品配送センターを設立。Paul Mitchell、Tea Tree、Neuroなどのブランドを世界30カ国以上に展開するプロフェッショナル向けヘアケアの大手企業。TEF助成金とベテラン雇用ボーナスを活用し、ダラス・フォートワース地域での事業拡大と雇用創出を推進。
Prismian Group & Encore Wire	プライスマリアン・グループ、エンコア・ワイヤー	不明	2025年6月24日	McKinney/ マッキニー	イタリア	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州マッキニー市で銅線・中電圧ケーブル製造施設を拡張 ・投資規模：資本投資 5億ドル ・稼働予定：2027年（新施設は約6万平方メートル） ・概要：イタリア企業プライスマリアン・グループと米国企業エンコア・ワイヤーが、既存工場を拡張し、最先端の中電圧ケーブル製造棟を追加。プライスマリアンは2024年にエンコア・ワイヤーを買収済みで、今回のプロジェクトは子会社工場の拡張。電化需要や米国電力網強化に対応するため、65万平方フィートの新棟を建設。エンコア・ワイヤーはリサイクル銅を活用したワイヤ製造で知られ、2023年には銅線の約28%をリサイクル材で生産。今回の投資により、世界最大級の垂直統合型ケーブル工場をさらに拡充。
MGC Pure Chemicals America	MGCピュアケミカルズ・アメリカ	不明	2025年6月25日	Killeen/ キリーン	日本	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州キリーン市で半導体用化学品製造施設を拡張 ・投資規模：TSIF助成金 530万ドル、資本投資 1億5,000万ドル超 ・概要：三菱ガス化学の米国子会社。半導体製造に不可欠な超高純度過酸化水素や水酸化アンモニウムなどの特殊化学品の需要増に対応するため、キリーンの既存工場を拡張。TSIF助成金により、米国半導体サプライチェーンの安定性強化と中部テキサスの半導体生産クラスター形成を加速。既存工場に約1万2,000平方メートルの生産スペースを追加。
Embraer	エンブラエル	約250人	2025年6月25日	Fort Worth/ フォートワース	ブラジル	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州フォートワース市で航空機MRO（整備・修理・オーバーホール）施設を新設 ・投資規模：資本投資 最大7,000万ドル ・概要：ブラジルの航空機メーカー。フォートワースのペロー・フィールド・アライアンス空港に新しいMRO施設を開設。既存ハンガーでの運用を開始し、2027年までに専用ハンガーを建設予定。今回の拡張により、米国でのサービス能力が約53%増加し、顧客対応力を強化。テキサス州とフォートワース市の支援を受けた戦略的投資であり、フォートワースを「テキサス州航空の中心地」としてさらに確立する狙い。地域経済への波及効果と航空宇宙産業の雇用創出に寄与。
MTU Aero Engines AG	MTUエアロ・エンジンズ	約1,200人（直接雇用）、最大2,000人（間接雇用）	2025年6月26日	Fort Worth/ フォートワース	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州フォートワース市で航空エンジン整備施設を拡張 ・投資規模：資本投資 1億2,000万ドル ・概要：ドイツの航空エンジンメーカー。フォートワースのペロー・フィールド・アライアンス空港にある既存施設（4万3,000平方メートル）を拡張し、長期戦略の一環として30年間のリース契約を締結。施設名は「MTUメンテナンス・フォートワース」に改称予定（2025年9月発効）。新拠点ではCFM LEAPやGEnxエンジンの分解・組み立て・試験を含むフルサービス型MROを提供し、北米最大級のエンジン整備・試験施設の1つとなる見込み。今回の投資により、地域の航空宇宙産業ハブとしての地位を強化し、高度人材の誘致と経済成長を促進。
L&T Technology Services	L&Tテクノロジー・サービス	約305人（初期は100人、順次拡大）	2025年6月27日	Plano/ プレイノ	インド	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州プレイノ市でエンジニアリングデザインセンターを新設 ・投資規模：非公表 ・概要：AI、サイバーセキュリティ、スマートシティ、デジタル製造分野に特化した最先端エンジニアリングセンターをプレイノに開設。新施設はITAR（国際武器取引規則）に準拠し、防衛関連製品や高度なサイバーセキュリティソリューションの開発にも対応。初期段階では100人のエンジニアを配置し、最終的に350人以上の高度人材を採用予定。センターではAI駆動のスマートシティ技術、デジタル製造、先進バッテリー管理システムなどの革新的ソリューションを提供し、テキサス州をイノベーション拠点として強化する狙い。
GCP Paper USA	GCPペーパーUSA	約250人（2026年までに）	2025年7月3日	New Caney/ ニューケイニー	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ニューケイニー市でティッシュ製造施設を新設 ・投資規模：資本投資 4億ドル ・稼働予定：2026年6月完成予定 ・概要：イースト・モンゴメリー郡産業団地に約5万2,600平方メートルの米国旗艦工場を建設。プライベートブランドの紙製品（トイレットペーパー、ペーパータオル、ナプキン）を製造し、Sam's Club、Walmart、H-E-B、Costco、Aldiなど大手小売業者に供給。今回の投資により、米国市場での供給能力を大幅に強化。
Ferrovial	フェロビアル	建設期間中に約300人の雇用を創出。	2025年8月26日	Milam/ ミラム	スペイン	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ミラム郡に250MWの太陽光発電施設を新設 ・投資規模：3億5,500万ドル（負債含む）。 ・稼働予定：着工は25年または26年、稼働予定は2027年見込み ・概要：スペインのインフラ企業で、建設・運営・保守を担当。年間約450GWh（45万MWh）の電力を供給し、約4万3,000世帯分を賅う予定。テキサス州での既存プロジェクト（レオン郡257MWdc、ヒューストン近郊72MW PV）を補完。
Oura	オーラ	不明	2025年8月27日	Fort Worth/ フォートワース	フィンランド	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州フォートワース市に新製造施設を開設 ・投資規模：非公表（米国防総省向け契約対応のため） ・稼働予定：2026年 ・概要：米戦争省（国防総省）との長期パートナーシップ強化を目的に、米国内初の製造拠点を設立。心拍、睡眠、ストレス、代謝などを測定する防水・着用型の機器「Oura Ring」は、軍のストレス管理・疲労リスク低減・早期疾病検知に活用が期待される。新施設は防衛契約履行、セキュリティ強化、先進的生産技術の特徴とする。高度なセキュリティ・自動化設備を導入。

表：テキサス州の投資案件一覧（2025年発表）

投資企業名（リンク付き英名）	投資企業名	雇用創出	発表時期	投資場所 (テキサス州内郡または都市名、英/日)	本国名	投資内容（テキサス州の助成制度：TEF、TSIF、JETIについては下記（注）を参照）
E-Space	イースペース	直接雇用2,000人（平均年収95,000ドル）、派生雇用1,355人。30年間で総賃金8.1億ドルを見込む。	2025年8月28日	Arlington/ アーリントン	フランス	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州アーリントンの空港に北米本社と製造拠点を新設 ・投資規模：1億1,500万ドル。48万平方フィートの製造・オフィススペース+ハンガー建設。 ・稼働予定：着工は2025年9月、完成は2027年春予定。 ・支援策：市の経済開発協議会と連携。30年間で市に21億4,000万ドルの財政効果を予測。 ・概要：フランスの衛星メーカー。北米本社をアーリントン市に設置。低軌道衛星ネットワークでIoT機器を接続する事業を推進。設計はGensler、施工はMoss & Associates (CMAR) とHill Building Group。
The Bank of Nova Scotia (Scotiabank)	ザ・バンク・オブ・ノバスコシア（スコシアバンク）	1,020人以上の新規雇用を創出。	2025年9月2日	Dallas/ ダラス	カナダ	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ダラスに大規模地域オフィスを設立。 ・投資規模：6,000万ドル超。 ・支援策：TEFから1,077万3,000ドルの助成金。 ・概要：米国事業の強化、北米回廊での役割拡大、地域社会へのコミットメントを目的とする。ダラスの金融サービス産業強化、グローバル企業誘致による地域経済活性化が見込まれる。
Berries Paradise	ベリーズ・パラダイス	不明	2025年9月4日	San Antonio/ McAllen サンアントニオ/ マッカレン	メキシコ	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州サンアントニオ市に新本社を開設（マッカレンにも事業拠点） ・投資規模：非公表 ・概要：メキシコ発の国際ベリー流通企業。北米市場への直接供給体制を強化するため、サンアントニオに新本社を設立。米国市場は同社最大の輸出先であり、年間52週のプロダクション体制でラズベリー、ブルーベリー、ブラックベリーなどを供給。垂直統合モデルにより鮮度・品質・レスポンスを向上させ、リテールへの直接販売を目指す戦略的プロジェクト。
Klauer Manufacturing	クラウアー・マニュファクチャリング	不明	2025年9月4日	Tomball/ トンポール	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州トンポール市に住宅用屋根フラッシング製品の倉庫兼製造施設を開設 ・投資規模：非公表 ・概要：アイオワ州本社。住宅用屋根フラッシング製品の倉庫・製造拠点を新設。施設規模は約3,700平方メートル（4万200平方フィート）、うちオフィススペース約185平方メートル。当初は倉庫として稼働し、2025年第4四半期初頭に製造機能を追加予定。南・中部テキサス市場への迅速な供給とサービス強化を目的。
SpaceX	スペースX	400人の新規雇用を創出。	2025年9月5日	Bastrop/ バストロップ	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州バストロップの既存施設を800万ドルで拡張。 ・投資規模：800万ドル。 ・稼働予定：工事は2025年9月24日開始、2026年1月初旬完了予定。 ・支援策：TSIFから1,730万ドルの助成金。 ・概要：半導体R&Dと先端パッケージング施設拡張が目的。8万平方フィートの増築。スターリンクやボーイングの拠点近くの道路「FM1209」沿いに位置し、X（旧Twitter）本社も近隣。加えて、テスラやスペースXなど、投資家イーロン・マスク氏の関連企業が集中するセントラルテキサスでの事業拡大、およびオフィススペース拡張による事業強化により、地域での存在感が強まる。
PV Hardware	PVハードウェア	100人	2025年9月5日	Houston/ ヒューストン	スペイン	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ヒューストン市に新製造施設（ソーラートラッカー製造工場）を開設 ・投資規模：詳細非公表（既存施設は3,000万ドル投資済み、追加投資額は公表されていないが数千万ドル規模と推定。） ・概要：ソーラートラッカーおよび基礎ソリューションの製造拠点を、ヒューストンで拡張。新施設は既存の3,000万ドル投資済み工場に続くもので、米国市場での需要増加とサプライチェーン強化が目的。独自の事前組み立てプロセスにより設置時間を最大40%短縮可能。製品は地形追従型設計や耐風・耐雪・耐雹（ひょう）機能を備え、再生可能エネルギー分野で高い信頼性を提供。
Energy Abundance	エナジー・アブundance・ディベロップメント	不明	2025年9月6日	Laredo/ ラレード	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ラレード近郊に5万エーカー規模のデータセンターハブを建設予定 ・投資規模：非公表（総開発規模は5GW電力、1,500万平方フィート） ・概要：ヒューストン本社、旧名：Green Hydrogen International。AI時代に対応する「Data City Texas」プロジェクトを推進。初期フェーズは300MW施設を2026年に稼働予定。敷地内で発電・蓄電・消費を完結させる「グリッド非依存型」モデルを採用し、最終的には水素を主力電源とする計画。隣接するHydrogen Cityで年間28万トンのグリーン水素を生産し、持続可能な電力供給を確保。AI・機械学習需要に対応する世界最大級のグリーンエネルギー駆動データセンターを目指す。
International Food Container Organization (IFCO)	国際食品コンテナ機構 (IFCO)	100人超	2025年9月8日	Mesquite/ メスキート	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ダラス近郊の都市メスキート市に新施設（サービスセンター）を開設 ・投資規模：450万ドル ・概要：再利用可能な食品用パッケージ（リユーズブルクレート）を扱う最新サービスセンターを開設。施設面積は約24万平方フィートで、15の積込ドックと高効率な自動洗浄ラインを備え、年間4,000万個以上のクレートを処理可能。食品安全とサステナビリティを重視し、米国の生産者と小売業者を結び供給網の効率化を推進。
Hennessey Performance	ヘネシー・パフォーマンス	80人（2026年末までに）	2025年9月10日	Sealy/ シーリー	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州シーリー市に新製造施設（自動車改造・高性能車製造工場）を開設 ・投資規模：1,500万ドル ・概要：米国テキサス州本社。約10万平方フィートの新工場を建設し、製造能力を倍増。ハイパーカー「Venom F5」や高性能トラック・マッスルカーの改造で知られる同社は、複合材製造や塗装工程を内製化し、年間生産台数を約2,000台に拡大予定。併設する「Tuner School」専用施設も新設し、教育・人材育成を強化。
VoidForm Products	ボイドフォーム・プロダクツ	フルタイム4人追加（既存14人）、季節雇用も予定	2025年9月12日	Universal City/ ユニバーサルシティ	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ユニバーサルシティ（サンアントニオ地域）に新製造・倉庫施設を開設 ・投資規模：非公表 ・概要：フォートワース本社。コンクリート構造物を腐食や土壌損傷から保護する製品を製造する新拠点を開設。施設規模は約3,065平方メートル（3万3,000平方フィート）で、従来のオースティン・サンアントニオ拠点を統合し、製造能力・物流機能を強化。急増する建設需要に対応し、中央テキサス市場への供給を拡大。

表：テキサス州の投資案件一覧（2025年発表）

投資企業名（リンク付き英名）	投資企業名	雇用創出	発表時期	投資場所 (テキサス州内郡または 都市名、英/日)	本国名	投資内容（テキサス州の助成制度：TEF、TSIF、JETIについては下記（注）を参照）
Samsung Austin Semiconductor	サムスン・オースティン・セミコンダクター	数千の高品質雇用の創出が見込まれる。	2025年9月17日	Taylor/ テイラー	韓国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州オースティンとテイラーの2拠点へ巨額投資、州や連邦の助成金を受給。 ・投資規模：総額370億ドル規模の投資。CHIPSプラス法に基づく連邦助成は最大47億4,500万ドルが確定。 ・支援策：TSIFからテイラー工場に2億5,000万ドルの助成金 ・概要：2ナノメートル先端ロジックチップ製造への移行、米国の半導体供給網強化、次世代技術（5G、AI、高性能コンピューティング）対応、が目的。サムスンはテキサスに累計約400億ドル投資しており、2021年に先端半導体（2ナノメートルロジックチップ）製造の拠点であるテイラー工場建設を発表（テキサス史上最大の外国直接投資）。米国の国家安全保障・AIイノベーションの推進、テキサスの半導体製造リーダーシップの強化、が見込まれる。
SPC Group	SPCグループ	不明	2025年9月17日	Burleson/ パールソン	韓国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ジョンソン郡パールソン市に製パン工場を新設 ・投資規模：2億800万ドル ・概要：韓国のSPCグループ（パリバゲット運営）が建設、生産・物流拠点として稼働予定。敷地面積約1万7,000平方メートル（第1フェーズ、2027年完成予定）、最終的に2万8,000平方メートルへ拡張（2029年）。米国建設会社JE Dunnが設計・施工を担当。北米での店舗数を2030年までに1,000店へ拡大する戦略の中核拠点であり、将来的には中米進出も視野。安全・品質・革新・持続可能性を重視し、地域社会への貢献を目指す。
Rowan Digital Infrastructure	ローワン・デジタル・インフラストラクチャー	建設期間中に約700人、稼働後は恒久的に40人（第1フェーズ30人＋第2フェーズ10人）	2025年9月19日	Temple/ テンプル	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州テンブル市にハイパースケールデータセンターキャンパスを新設 ・投資規模：7億ドル ・稼働予定：第1フェーズは2026年秋完成予定、第2フェーズは2029年末までに追加雇用。 ・概要：ローワン・デジタル・インフラストラクチャーが開発。敷地面積約700エーカー、クラウドサービスやインターネット企業向けの大規模コンピューティング・ストレージ・ネットワーク需要に対応。
Tubefab	チューブファブ	40人	2025年9月19日	Jacksonville/ ジャクソンビル	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ジャクソンビル市に新製造施設（銅管加工工場）を開設 ・投資規模：3,000万ドル ・概要：ジャクソンビル市のノーマン工業団地内に約10万平方フィートの新工場を建設。銅管加工を専門とし、既存のジャクソンビル拠点は維持しつつ生産能力を強化。市は最大65万ドルのインセンティブを提供し、地域経済の活性化と雇用創出を後押し。
Eli Lilly	イーライリリー	600以上の新規雇用を創出。	2025年9月23日	Harris/ ハリス	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ハリス郡に、約100万平方フィートのAPI（Active Pharmaceutical Ingredient：医薬品有効成分）製造施設を建設。 ・投資規模：65億ドル以上。 ・支援策：TEFから、550万ドルの助成金、JETIプログラム認定。 ・概要：次世代低分子合成医薬品の国内生産強化、海外依存の低減、サプライチェーンの安定化が目的。テキサス州史上最大のAPI製造投資であり、米国の製薬製造の未来を形作る戦略的プロジェクト。米国国内での製薬製造回帰を象徴する大型投資、ヒューストン地域のライフサイエンス産業にとって歴史的な転換点。公的・民間の連携によるエコシステム構築が成功要因。 ・地域連携：ハリス郡、ジェネレーションパーク、サンジャシント大学、シェルドンISDなどが人材育成・インフラ整備で協力。
Yerico Manufacturing	イエリコ・マニュファクチャリング	30人の新規雇用を創出。	2025年9月24日	Elgin/ エルジン	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州エルジンの半導体装置材料・サービス施設を拡張。 ・投資規模：1,300万ドル。 ・支援策：TSIFから130万ドルの助成金。 ・概要：半導体装置のリファービッシュ・修理サービス強化が目的。新棟建設＋既存施設拡張で5万平方フィート追加。ESC（エレクトロスタティックチャック）と部品の月産能力を1,500→2,500に増強、新施設で半導体製造装置を月1,000台追加生産。石英リファービッシュ、製造、R&D、洗浄サービスを拡充。
Gattefossé	ガテフォッセ	不明	2025年9月25日	Lufkin/ ラフキン	フランス	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ラフキン市に新製造施設を開設 ・投資規模：5,500万ドル ・概要：美容・医薬品向け特殊原料の製造拠点で、脂質系賦形剤に特化。北米市場での供給能力を拡大し、サプライチェーンの強化とリードタイム短縮を実現。ISO 9001、EffCI GMP、EXCiPACT認証取得済み。LEED基準に準拠した環境配慮型設計。米国拠点は1982年から存在し、今回の施設はグローバル成長戦略の一環。
Lefko USA	レフコ	149の新規雇用を創出。	2025年9月30日	New Braunfels/ ニューブラウンフェルズ	カナダ	<ul style="list-style-type: none"> ・米国初の製造施設をテキサス州ニューブラウンフェルズに設立。 ・投資規模：1,500万ドル超。 ・支援策：TEFから96万8,500ドルの助成金。退役軍人雇用ボーナス1万9,000ドル。 ・概要：米国市場への進出と競争力強化が目的。地域経済の多様化と雇用創出、およびテキサス製造業ブランド「Made in Texas」の強化が見込まれる。カナダ企業Centrik Capitalの子会社。
Bridor USA	ブリドール	最大600人（3段階で段階的に採用）	2025年10月2日	Lancaster/ ランカスター	フランス	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ランカスター市（ダラス南部）に新製造施設を開設 ・投資規模：4億1,000万ドル ・概要：フランス系製パン企業。州内初の産業用ベーカリーを建設。地域社会への10年間にわたる投資計画の一環で、北米市場での供給能力強化が目的。施設は複数フェーズで稼働し、地域経済への貢献と雇用創出を推進。
Gerdau	ジェルダウ	不明	2025年10月3日	Midlothian/ ミドロシアン	ブラジル	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ミドロシアン市に新製造施設（電気炉製鋼設備）を拡張 ・投資規模：5,150万ドル ・概要：ブラジル本社の鉄鋼メーカー。再生材を活用した電気炉（EAF）製鋼工場の生産能力を増強。米国市場での需要増加と輸入減少を背景に、北米事業を強化する戦略の一環。今回の投資は2026年後半に完了予定で、持続可能な鉄鋼生産を推進。

表：テキサス州の投資案件一覧（2025年発表）

投資企業名（リンク付き英名）	投資企業名	雇用創出	発表時期	投資場所 (テキサス州内郡または都市名、英/日)	本社国名	投資内容（テキサス州の助成制度：TEF、TSIF、JETIについては下記（注）を参照）
Matica	マティカ	不明	2025年10月7日	College Station/ カレッジステーション	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州カレッジステーション市にcGMP準拠のウイルスベクター製造施設（細胞・遺伝子治療向け）を開設 ・投資規模：非公表 ・概要：ウイルスベクターおよび細胞・遺伝子治療向け製造に特化した新cGMP施設（約4,180平方メートル/4万5,000平方フィート）を稼働。シングルユースシステムや独自のMatiMAX™細胞株プラットフォームを活用し、AAV・LVV製造の効率化と品質管理を実現。2025年上半期に10件以上の新規プロジェクトを獲得し、商業製造契約も締結。今後は能力拡張と戦略的提携を進め、次世代CGT市場での需要増に対応。
NNA Polymers	NNAポリマーズ	約50人の新規雇用を予定。	2025年10月8日	Big Spring/ ビッグスプリング	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ビッグスプリングにポリアクリルアミド製造施設を新設 ・投資規模：2億5,000万ドル。年間生産能力20万トン。 ・稼働予定：2026年末 ・概要：水処理、鉱業、石油・ガス用途向けの水溶性ポリマーを製造。原料供給を完全統合し、コスト競争力・品質管理を強化。物流・エネルギーアクセスに優れた戦略的立地を選定。環境負荷低減と効率改善のため先端プロセス技術を導入。
Motive	モーティブ	200人以上（今後2年間でフルタイム採用、現行テキサス州内140人から拡大）	2025年10月9日	Austin/ オースティン	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州オースティン市に新オフィスを開設 ・投資規模：非公表 ・概要：AI搭載統合オペレーションプラットフォームを提供。米国拠点拡大のため、オースティンに新オフィスを開設。交通・物流、建設、エネルギーなどテキサスの主要産業向けに顧客支援を強化。新拠点は営業、R&D、採用部門のハブとして機能し、約1,000平方メートルのハイブリッド型オフィスを整備。地域大学との連携による人材育成プログラムも展開。
GAF Energy	GAFエナジー	不明（カリフォルニア州サンノゼでは138人のレイオフ発生）	2025年10月14日	Georgetown/ ジョージタウン	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ジョージタウン市に本社を移転（製造・R&D機能を集約） ・投資規模：非公表（既存製造施設は2024年5月に稼働開始済み） ・概要：スタンダード・インダストリーズ傘下でソーラー屋根材を製造。サンノゼ本社を閉鎖し、テキサス州ジョージタウンに本社を移転。新拠頭に製造・研究開発・運営機能を統合し、住宅建築市場での太陽光発電需要に対応。サンノゼ工場閉鎖に伴い、従業員への支援策を実施。
Meta	メタ	常勤100人、建設時1,800人の新規雇用を創出。	2025年10月15日	El Paso/ エルパソ	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州エルパソ北東部に新データセンターを建設。 ・投資規模：15億ドル。 ・稼働予定雇用創出：2028年 ・支援策：エルパソ市による大規模税制優遇（2023年12月承認）、Metaが市から1,039エーカーの土地を購入。 ・概要：AI対応の大規模データセンター複合施設を建設。第1期は2棟のデータセンタービル（総面積120万平方フィート）を含み、場所はStan Roberts Avenueと米国ハイウェイ54沿い。沿い。将来的には最大1GWの電力使用を見込み、米国最大級のデータセンターキャンパスとなる可能性あり。Metaにとって米国内25番目、テキサス州では3番目のデータセンター。
AstraZeneca	アストラゼネカ	不明	2025年10月15日	Coppell/ コペル	英国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州コペルの製造施設を拡張 ・投資規模：4億4,500万ドル。 ・概要：英国のバイオ医薬品企業アストラゼネカが製造施設を拡張し、カリウム排出薬「Lokelma」の生産能力を2倍に増強。
Amazon (Robinson)	アマゾン	不明	2025年10月15日	Robinson/ ロビンソン	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ロビンソン市（ウェイコ近郊）で新配送ステーションを開設予定 ・投資規模：非公表（施設面積 約1万1,050平方メートル/11万9,000平方フィート） ・概要：ロビンソン市ビジネスパーク内にラストマイル配送ステーションを設置。ウェイコ広域圏の配送効率向上を目的とし、グレーター・ウェイコ商工会議所、ロビンソン市、マクレナン郡と協力。既存のロボティック・フルフィルメントセンター（2022年開設）に続く追加投資で、州間高速道路「I-35」沿線の戦略的立地と地域の熟練労働力を活用。
Lollicup USA	ロリカップUSA	不明	2025年10月17日	Rockwall/ ロックウォール	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ロックウォール市に新本社兼製造・物流施設を開設 ・投資規模：2,000万ドル ・概要：使い捨て食品サービス用品の製造・販売を手掛ける。本社をカリフォルニア州チノからテキサス州ロックウォールへ移転。新施設は約65万平方フィートの製造・流通・オフィス機能を備え、同社最大規模の拠点。移転により全米顧客への供給効率を強化し、成長余地を確保。親会社はカラット・パッケージング（Karat Packaging）で、全米の外食産業や食品サービス向けに容器、カップ、ストロー、カトラリーなど幅広い製品を提供。さらに、環境配慮型ブランド「Karat Earth®」を展開し、再生可能資源を活用したサステナブル製品（バイオプラスチック、紙製品など）を供給。カスタムデザインや印刷、物流サービスも提供し、エコ対応と利便性を両立。
BMK Pharma	BMKファーマ	100人以上の高度人材（自動化エンジニア、化学者、薬剤師、研究者など）	2025年10月21日	Allen/ アレン	インド	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州アレン市に米国本社兼製薬施設を新設 ・投資規模：5,000万ドル ・稼働予定：2026年第3四半期 ・概要：延床面積約5万平方フィート、503B調剤薬局および無菌CDMO（受託開発製造機関）として稼働。注射剤や無菌製剤を製造し、米国の医薬品供給網の強化を目指す。アレン市のビジネス環境と人材を活用し、製薬企業・バイオ企業・ジェネリックメーカーとの提携も視野に入れる。
Vantage Data Centers	バンテージ・データ・センターズ	不明	2025年10月21日	San Antonio/ サンアントニオ	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州サンアントニオ市に新データセンター（テクノロジーキャンパス）を開設 ・投資規模：2億7,200万ドル ・稼働予定：2027年6月完成見込み ・概要：米国コロラド州デンバー本社。サンアントニオ北部に約20万平方フィート超の2階建てテクノロジーキャンパスを建設。AI対応を含むクラウドサービス向けデータセンターで、最大96MWのIT容量を備える予定。エネルギー効率化と環境配慮を重視し、2030年までに運用上のカーボンニュートラル達成が目標。

表：テキサス州の投資案件一覧（2025年発表）

投資企業名（リンク付き英名）	投資企業名	雇用創出	発表時期	投資場所 (テキサス州内郡または 都市名、英/日)	本社国名	投資内容（テキサス州の助成制度：TEF、TSIF、JETIについては下記（注）を参照）
Select Water Solutions & Mariana Minerals	セレクト・ウォーター・ソリューションズ、マリアナ・ミネラルズ	建設時200人（臨時）、操業後50人（恒常）	2025年10月21日	Joaquin/ ホアキン	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ホアキン市（ディープイーストテキサス）に新リチウム抽出施設を建設 ・投資規模：1億ドル ・稼働予定：建設は2026年12月まで継続し、2027年1月操業開始予定。 ・概要：セレクト・ウォーター・ソリューションズとマリアナ・ミネラルズが共同でリチウム抽出プラントを開発。ジョアキン市初の大規模プロジェクトで、地域資源を活用した革新的事業。年間約4,000万ドルの経済効果を見込み、STEM教育支援やインターンシップを通じて地域人材育成にも貢献。
R+L Carriers	R+Lキャリアーズ	不明	2025年10月23日	El Paso/ エルパソ	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州エルパソ市のサービスセンターを拡張 ・投資規模：100万ドル ・概要：米国オハイオ州本社。米墨間のクロスボーダー輸送需要増に対応するため、エルパソ拠点を拡張。拡張内容はドックドア14基追加（合計45基）、新燃料アイランド（2レーン）、約930平方メートル（1万平方フィート）以上のドックスペース増設。メキシコ国境ゲートウェイであるエルパソ・ファレス地域での配送効率向上を目指し、サービス時間短縮と輸送能力強化を実現。
Ninth Avenue Foods	ナインス・アベニュー・フーズ	150人（今後5年間で）	2025年10月24日	Longview/ ロングビュー	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ロングビュー市に食品製造施設（乳製品加工工場）を開設 ・投資規模：2億ドル超 ・概要：第3製造拠点として建設。乳製品業界で4世代続く家族経営企業で、品質とサービスに定評あり。新施設は既存顧客への供給強化と新製品開発を目的とし、最新の自動化設備を導入予定。ロングビュー経済開発団体との協定を締結し、地域経済への貢献と雇用創出を推進。
Wright One	ライト・ワン	最大164人	2025年10月24日	Cedar Park/ シーダーパーク	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州シーダーパーク市に新本社を開設 ・投資規模：1,550万ドル ・概要：特殊ファンやタービン技術を開発するハードウェアメーカーとして、新本社を設立。主力製品は暗号資産マイニング用サーバー冷却向けの送風・タービンシステムだが、今後はドローンや空飛ぶ車など航空宇宙分野への展開を目指す。新拠点は空調・電化インフラ技術の研究開発と製造を強化し、地域雇用と先端産業の成長に寄与。
PEGATRON	ペガトロン	数百人（うち100人は3年以内に採用）の新規雇用を創出。	2025年10月27日	Georgetown/ ジョージタウン	台湾	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ジョージタウンに米国初の製造施設を開設。 ・投資規模：8,500万ドル ・支援策：ジョージタウン市とウィリアムソン郡による成果報酬型経済開発協定（承認予定）。 ・概要：台湾本社のペガトロンが米国初の製造拠点を設立。施設面積は16万8,784平方フィート。2025年12月31日までに建設開始予定。製造内容はAI関連技術を含む情報通信・家電製品（PC、スマートフォン、ゲーム機、車載電子機器、スマートホーム機器など）。本プロジェクトはサプライチェーン強化と米国市場への対応を目的とし、テキサス州のハイテク製造ハブとしての地位をさらに強化。
Amazon (Tyler)	アマゾン	100人（追加で配送パートナーによる雇用も見込む）	2025年10月27日	Tyler/ タイラー	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州タイラー市に新ラストマイル配送施設を開設 ・投資規模：非公表 ・概要：スミス郡に初の拠点を開設。約9,300平方メートル（10万平方フィート）の施設は、注文品を最終的に仕分け・配送する「ラストマイル」拠点として機能。建設は1年未満で完了し、新設道路も整備。地域への迅速な配送を実現し、Girl Scouts of Northeast Texasへの1万ドル寄付など地域貢献も実施。
Applied Optoelectronics	アプライド・オプトエレクトロニクス	500人以上（現行450人から倍増）	2025年10月28日	Sugar Land/ シュガーランド	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州シュガーランド市（ヒューストン近郊）でデータセンター関連製造施設を拡張 ・投資規模：1億5,000万ドル ・稼働予定：新施設（約1万9,500平方メートル）は2026年半ば ・概要：光トランシーバー製造。AI対応データセンター需要に応えるため、米国内生産を強化。既存本社工場に新ラインを追加し、800Gトランシーバーを生産、将来的には1.6T対応製品も計画。市の経済開発局による10年間の協定と200万ドルのインセンティブを含む。拡張後、米国最大級のAI向け光トランシーバー生産能力を目指す。
Formosa Plastics	フォルモサ・プラスチック	不明	2025年11月6日	Jackson/ ジャクソン	台湾	<ul style="list-style-type: none"> ・テキサス州ジャクソン郡に化学製造施設を開設 ・投資規模：1億5,000万ドル ・概要：既存のPoint Comfortコンプレックス向けにC6（1-ヘキセン）を製造する新施設を建設。1-ヘキセンはポリエチレン製造に用いられる重要な原料で、今回の投資は州のJETIプログラム認定プロジェクト。地域経済の活性化とサプライチェーン強化を目的とし、州政府や地元教育機関との協力により税制優遇措置を活用。

注：テキサス州の助成制度について

TEF（Texas Enterprise Fund）：テキサス州エンタープライズ基金

国内最大級のディールクローリング・ファンド（deal-closing fund）と称される。この基金は、大きな雇用創出と資本投資が見込まれ、テキサス州内の1つの施設が州外の施設と競合しているプロジェクトの、最終的なインセンティブとして活用されている。

TSIF（Texas Semiconductor Innovation Fund）：テキサス州半導体支援助成金

大学などの州立機関および州に所在する民間企業の半導体関連の投資に対し、助成金を支給する。2023年6月施行。

JETI（Jobs, Energy, Technology, and Innovation）Acts：雇用、エネルギー、技術、イノベーション法

製造・発電・資源開発・研究・ハイテク・インフラ建設などの施設建設プロジェクトに対し、見込まれる雇用数や投資額によって、学区管理・運営税の評価額を10年間、50%減免する。再生可能エネルギーやエネルギー貯蔵施設は対象外。

出典：テキサス州知事室

<https://gov.texas.gov/business/page/recent-project-announcements>